

D. 写 真 室

写真室は中央写真室 112.2 m² 高速度写真室 117.7 m² から成り、中央写真室は文献複写、青写真白焼、撮影、現像、焼付、引伸などの一般写真作業を行ない、高速度写真室は 16 mm Fastax 高速度カメラ、閃光放電管式瞬間写真撮影装置、16 mm Cine Kodak カメラ、Bell & Hawell 16 mm 映写機（磁気録音付）、35 mm 幻灯機などを設備し、高速度写真関係の作業を行なっている。運営は当研究所写真委員会との管理のもとに行なわれ、月平均百数十件、年間百万円以上の作業を行なっている。また所外よりの委託研究にも応ぜられるようになっている。

III. 機構・職員・予算

1. 機 構

A. 機構の概要

生産技術研究所は、日常の業務遂行の面から、研究部と事務部とに大別される。

研究部は、運営の便宜上、5部門に分かれ、部ごとに互選による2名の常務委員がいて、部の日常の事務処理に当たる。常務委員のうち1名は、部主任として部を代表する。常務委員は、常務委員会を組織し、所長の諮問機関として毎月2回、会議を開催している。研究部は研究室から成り立っており、また、その部の専門を適当に分類した専門分野表は1ページ「沿革」の項に掲げた通りである。

中間試験部は、基礎部の基礎研究として完成したもので、これを工業化へ移すための中間規模の試験研究を行なうところで、毎年度、各部から2名ずつ選出する委員の組織する特別研究審議委員会で、研究課題を審議決定し、特別の予算をつぎこんで実施している。また受託研究の一部には中間試験研究になるものがある。

試作工場および図書室は、それぞれ各部から選出する教授・助教授が委員となって組織する委員会によって運営される。それらの詳細は、前記試作工場、図書室の項を参照されたい。

当研究所の重要事項は教授総会で議決する。教授総会は教授・助教授によって組織され、毎月1回定期に開催している。

協力機関には、航研・生研連絡会議がある。

その外に、所員が、それぞれの専門の立場から、事務運営を指導し、助言する機関とし

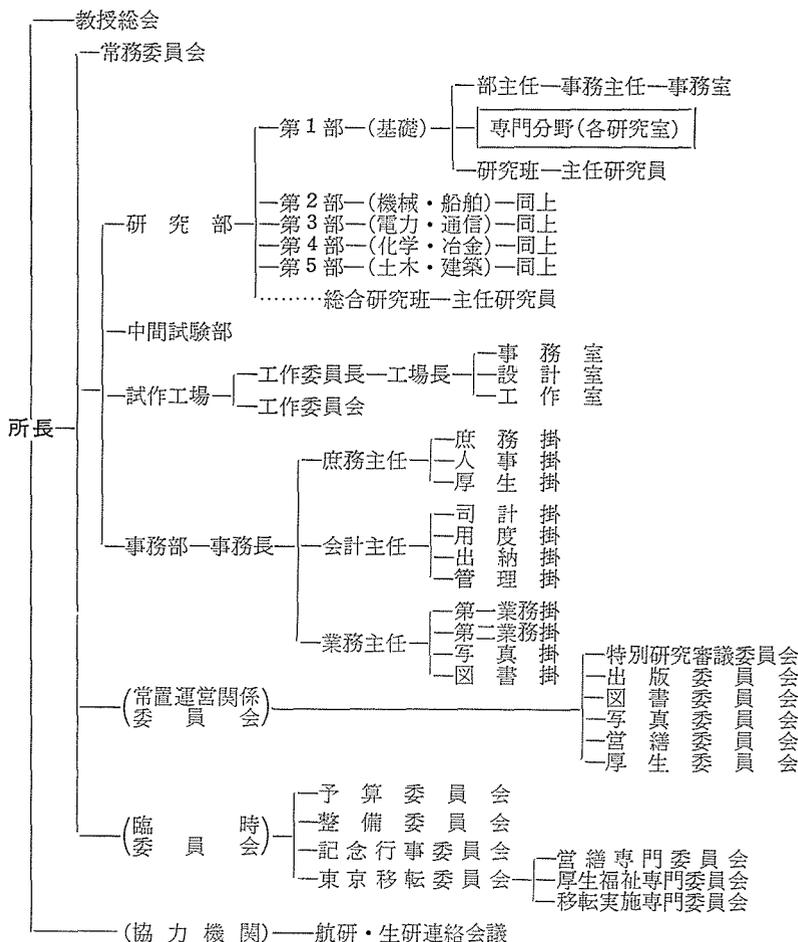
て、各種運営委員会がある。その要旨は、巻末の委員会諸規定を参照されたい。

大 学 院

当所で現在教育を受けている大学院学生は、新制 34 名である。新制大学院は、昭和 28 年 4 月から開始され、当所の関係する大学院のコースは、数物系研究科中の、土木・建築・機械・精密・船舶・電気・応用物理・航空および化学系研究科中の応用化学・冶金である。

外に会社・官公庁、その他一般からの申出により、一定期間、ある事項について研究を指導する研究生の制度がある。その規定は巻末122ページにある。

B. 機 構 図



2. 職 員

A. 現 員 表

a. 職種別職員数

区分	教 授	助教授	助 手	技 官	事務官	技術員	事務員	技能員	用務員	合 計
職員数	36 * 9	32 * 2	56	69	49	36	18	33	31	360 * 11

* 印併任

b. 諸系統別職員数

区分	研 究 系 統						事務系統			技術系統			技能労務系統				その他		合 計			
職種別	教 授	助 教 授	研 究 担 当	研 究 員	技 官	助 手	計 画	事 務 官	事 務 員	計 画	技 術 官	技 術 員	計 画	技 能 官	技 能 員	用 務 員	計 画	常 勤 労 務 者		日 雇 者 (甲)	臨 時 筆 生	計
職員数	36 * 9	32 * 2	6	49	39	56 * 11	218	49	18	67	26	36	62	4	33	31	68	7	92	5	104	519 * 11

* 印併任

B. 職 員 名 簿

第 1 部

* 新制による学位

官 職	氏 名	卒 業 学 部 科	卒 業 年 月 日	学 位 取 得 年 月 日	学 位
教 授	岡本 舜三	東 大 工, 土 木	昭 7. 3. 31	昭 23. 2. 19	工
教 授	久保田 広	理, 物 理	昭 9. 3. 31	昭 18. 2. 26	工
”	糸川 英夫	工, 航 空	” 10. 3. 31	” 24. 1. 5	”
”	一色 貞文	” 冶 金	” 11. 3. 31	” 24. 2. 14	”
”	玉木 章夫	理, 物 理	” 14. 3. 31	” 26. 4. 11	”
”	末岡 清市	” ”	” 16. 3. 31	” 26. 10. 17	理
併 任 教 授	山内 恭彦	” ”	大 15. 3. 31	” 13. 4. 19	”
”	平田 森三	” ”	昭 3. 3. 31	” 16. 1. 14	”
”	熊谷 寛夫	” ”	” 9. 3. 31	” 14. 7. 31	”

教授	池田 健	工, 航空	〃 6. 3. 31	〃 18. 6. 15	工
助教授	大井光四郎	理, 数学	〃 14. 3. 31		
〃	富永 五郎	〃 物理	〃 17. 9. 30		
〃	鳥飼 安生	〃 〃	〃 18. 9. 25	〃 30. 4. 4	理
〃	森 大吉郎	二工航機	〃 19. 9. 25		
〃	山田 嘉昭	〃 機械	〃 20. 9. 25		
〃	渡辺 勝	理, 物理	〃 16. 12. 25	〃 34. 12. 9	理
〃	小瀬 輝次	二工精密	〃 22. 9. 30		
技官	北川 英夫	〃 物理	〃 21. 9. 30		

第 2 部

教授	竹中 規雄	東工, 大機械	昭11. 3. 31	昭26. 5. 26	工
〃	小川 正義	〃 造兵	〃 13. 3. 31	〃 25. 10. 25	〃
〃	鈴木 弘	〃 機械	〃 15. 3. 31	〃 26. 4. 11	〃
〃	橋 藤雄	〃 〃	〃 11. 3. 31	〃 28. 1. 29	〃
〃	平尾 収	〃 〃	〃 14. 3. 31	〃 29. 3. 17	〃
〃	亙理 厚	〃 航空	〃 16. 3. 31	〃 27. 4. 4	〃
〃	水町 長生	〃 機械	〃 15. 3. 31	〃 33. 8. 6	〃
〃	田宮 真	〃 船舶	〃 16. 12. 25	〃 33. 5. 2	〃
〃	松永 正久	〃 造兵	〃 16. 12. 25	〃 32. 8. 1	〃
併任教授	兼重寛九郎	〃 機械	大12. 3. 31	〃 13. 3. 17	〃
助教授	大島康次郎	〃 造兵	昭17. 9. 25	〃 32. 7. 8	〃
〃	植村 恒義	二工 〃	〃 19. 9. 25		
〃	安藤 良夫	〃 船舶	〃 20. 9. 30		
〃	石原 智男	〃 機械	〃 21. 9. 30	昭30. 5. 27	〃
〃	高橋 幸伯	〃 船舶	〃 21. 9. 30		
〃	柴田 碧	工, 機械	〃 28. 3. 28	〃 33. 3. 29	工*
〃	森 政弘	名工, 大電氣	〃 25. 3. 17	〃 34. 4. 27	工
併任助教授	千々岩健児	工, 機械	〃 19. 9. 25	〃 32. 1. 13	工
技官	橋爪 伸	横浜高専機械	〃 23. 3. 31		

第 3 部

教授	藤高 周平	東工, 大電	昭 5. 3. 31	昭17. 12. 24	工
"	高木 昇	" "	" 6. 3. 31	" 17. 5. 15	"
"	森脇 義雄	" "	" 8. 3. 31	" 22. 6. 23	"
"	沢井善三郎	" "	" 10. 3. 31	" 25. 5. 31	"
"	斎藤 成文	" "	" 16. 12. 25	" 26. 8. 20	"
併任教授	後藤 以紀	" "	" 2. 3. 31	" 9. 4. 5	"
助教授	安達 芳夫	二工 "	" 19. 9. 25		
"	野村 民也	" "	" 20. 9. 25	" 34. 11. 20	"
"	尾上 守夫	" "	" 22. 9. 30	" 30. 6. 30	"
"	黒川 兼行	" "	" 26. 3. 28	" 33. 5. 14	"
"	浜崎 襄二	工 "	" 28. 3. 28	" 33. 9. 15	*工
技官	河村 達雄	" "	" 29. 3. 28	" 34. 3. 30	"

第 4 部

教授	岡 宗次郎	東工, 大応化	大15. 3. 31	昭26. 12. 3	工
"	高橋 武雄	" "	" 15. 3. 31	" 16. 3. 24	"
"	福田 義民	" "	昭 3. 3. 31	" 20. 11. 7	"
"	永井 芳男	" "	" 5. 3. 31	" 21. 11. 7	"
"	金森 九郎	" 冶金	" 7. 3. 31		
"	菊池 真一	" 応化	" 8. 3. 29	" 23. 6. 3	"
"	江上 一郎	" 冶金	" 10. 3. 31	" 24. 2. 14	"
"	山本 寛	" 応化	" 13. 3. 31	" 27. 4. 4	"
"	浅原 照三	" "	" 14. 3. 31	" 28. 8. 19	"
併任教授	祖父江 寛	" "	" 4. 3. 31	" 16. 8. 4	理
助教授	野崎 弘	" 応化	" 14. 3. 31	" 32. 11. 15	工
"	加藤 正夫	" 冶金	" 15. 3. 31	" 27. 7. 7	"
"	山辺 武郎	" 応化	" 15. 3. 31	" 31. 12. 20	"
"	中村 亦夫	" "	" 16. 12. 25		
"	武藤 義一	" "	" 16. 12. 25		

助教授	今岡 稔	工, 応化	昭16. 12. 25		
"	西川 精一	二工冶金	" 19. 9. 25		
"	原 善四郎	" "	" 19. 9. 25		
併任 助教授	松下 幸雄	工 "	" 17. 9. 25	昭32. 3. 22	工
技官	館 充	二工 "	" 20. 9. 25		

第 5 部

教授	渡辺 要	東大 工, 建築	大14. 4. 17	昭17. 1. 20	工
"	福田 武雄	" 土木	" 14. 3. 31	" 7. 12. 16	"
"	星野 昌一	" 建築	昭 6. 3. 31	" 20. 9. 24	"
"	坪井 善勝	" "	" 7. 3. 31	" 16. 11. 29	"
"	関野 克	" "	" 8. 3. 31	" 20. 9. 24	"
"	星埜 和	" 土木	" 9. 3. 31	" 22. 8. 21	"
"	丸安 隆和	" "	" 14. 3. 31	" 26. 11. 26	"
併任 教授	安芸 皎一	" "	大15. 3. 31	" 18. 7. 29	"
"	高山 英華	" 建築	昭 9. 3. 30	" 24. 7. 30	"
助教授	勝田 高司	" "	" 15. 3. 31	" 27. 1. 25	"
"	井口 昌平	" 土木	" 16. 12. 25		
"	池辺 陽	" 建築	" 17. 9. 25		
"	三木五三郎	二工土木	" 19. 9. 25		
"	久保慶三郎	" "	" 20. 9. 25		
"	田中 尚	二工建築	昭21. 9. 30	" 31. 12. 20	"
技官	小林 一輔	工, 土木	" 29. 3. 31		

事 務 部

事務長	鈴木 弥孝	東洋商業	大11. 3. 31		
工場長 (併任)	鈴木 正吾 (第2部技官)	東大 工, 機械	昭14. 3. 31		

年 間 異 動

官 職	氏 名	年 月 日	摘 要
助 教 授	原 善 四 郎	34. 4. 1	助教授に昇任

技 官	河 村 達 雄	34. 4. 1	技 官に採用
"	館 充	34. 6. 1	" に昇任
"	橋 爪 伸	34. 8. 1	" "
"	藤 森 栄 二	34. 8. 31	辞 職
教 授	松 永 正 久	34. 11. 10	教 授に昇任
助 教 授	黒 川 兼 行	34. 12. 1	休 職
教 授	宮 津 純	34. 12. 19	辞 職

C. 旧 職 員

名誉教授 故井口 常雄, 瀬藤 象二, 故友田 宜孝, 谷 安正,
 星合 正治
 元 教 授
 故森田 三郎, 故茂木 武雄, 故吉川 晴十, 菱川万三郎, 吉原 英夫,
 松本 良一, 釘宮 磐, 岩崎 富久, 故竹中 二郎, 清水 菊平,
 浅岡 勝彦, 石川 政吉, 山県 昌夫, 福田 節雄, 南波松太郎,
 故増野 実, 谷 一郎, 河村 正弥, 沼田 政矩, 故小野 薫,
 高橋 安人, 宮津 純
 元 助 教 授
 故原 正人, 吉村 慶丸, 堀 武男, 渡辺 慧, 佐藤 正彦,
 故内田 祥文, 渡辺 正雄, 高木 豊, 沢田 正二, 高月 竜男,
 豊田 利幸, 故青木 洋, 故高尾 一郎, 田中 一彦, 元良 誠三,
 中西 邦雄, 故桑井 源禎, 小川 岩雄, 江口 雅彦, 石井 義郎,
 久松 敬弘, 仁木 栄次, 浜口 隆一, 丹羽 登
 元 技 官
 佐藤 敬夫, 中村 康治, 藤森 栄二

3. 決算と予算

A. 昭和 33 年度歳出決算額

	金 額	百分率%	
総 額	372,397,005	100.00	
人 件 費	135,199,105	36.31	%
物 件 費	237,197,900	63.69	100.00
各研究部研究費	27,563,300	7.40	11.62
特別研究費	13,865,700	3.72	5.85
受託研究費	4,651,000	1.25	1.96

受託研究員費	388,000	0.10	0.17
私学教職員研修費	72,000	0.02	0.03
大学院学生経費	671,000	0.18	0.28
溶鉱炉運転費	5,827,000	1.56	2.46
設備費	6,400,000	1.72	2.70
図書購入費	2,016,055	0.54	0.85
出版費	1,882,279	0.51	0.77
試作工場経費	1,285,000	0.35	0.54
職員厚生経費	223,200	0.06	0.10
国際地球観測年事業費 (ロケット、ロクーン経費)	152,180,000	40.86	64.16
その他の維持費	20,173,366	5.45	8.51

B. 昭和 34 年度歳出予算額

	金額	百分率%	
総予算額	335,701,904	100.00	
人件費	141,476,804	42.14	%
物件費	194,225,100	57.86	100.00
各研究部研究費	36,844,000	10.98	18.97
特別研究費	16,805,700	5.01	8.65
受託研究費	5,000,000	1.49	2.57
受託研究員費	564,000	0.17	0.29
私学教職員研修費	36,000	0.01	0.02
大学院学生経費	552,900	0.16	0.28
溶鉱炉運転費	5,376,000	1.60	2.77
設備費	5,500,000	1.64	2.83
図書購入費	2,000,200	0.60	1.03
出版費	2,459,908	0.73	1.27
試作工場経費	2,885,000	0.86	1.49
ロケット・ロクーン経費	90,775,000	27.04	46.74
その他の維持費	25,426,392	7.57	13.09

C. 文部省科学研究費関係（昭和 34 年度）

総額	16,200,000円
各個研究	1,670,000
試験研究	7,650,000
総合研究	1,880,000

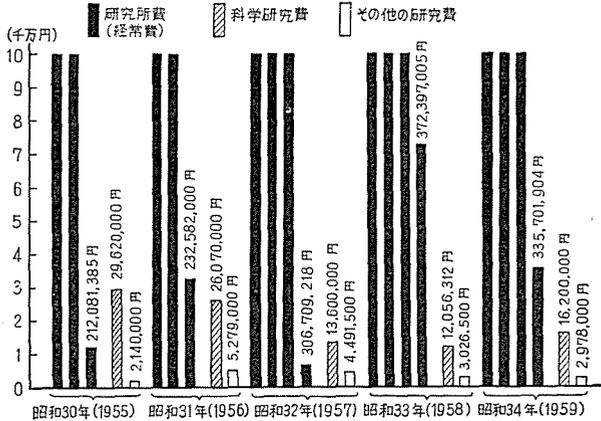
D. その他の研究費（昭和 34 年度）

委員会および諸団体より

2,978,000

総 計 (B + C + D)

354,879,904 円



過去 5 ケ年間の諸費増減比較表

IV. 昭和 34 年度の研究成果発表の状況

出 版 物

次の 3 種がある。

東京大学生産技術研究所報告（略称：生研報告）

所員のまとまった研究成果を発表する。文は和文または欧文とし、不定期発行で年間 10 種前後を出している。

生 産 研 究

研究の解説的紹介と速報的紹介とをかね、月刊で出している。

以上は、当所の発行の分で、その他随時に学会誌、協会誌の各誌に発表している。

生研リーフレット